

令和 2 年度 基準病床数の見直し検討について（横須賀・三浦）

1 経緯

- 第 7 次神奈川県保健医療計画では、各地域の地域医療構想調整会議での議論や国との協議などを踏まえ、最新の人口（平成 29 年 1 月）と病床機能報告の病床利用率※1（平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月）を基本として基準病床を算定しており、計画期間の中間年である令和 2 年度（2020 年度）に見直しを検討することとしている。
 - この際、必要病床数と既存病床数の乖離が県内でも特に大きいと見込まれる横浜、川崎北部、**横須賀・三浦**地域については、将来に与える影響が大きいことから、地域での意向を踏まえ、毎年度、最新の人口と病床利用率により再計算し、その結果を踏まえ、基準病床数を見直すか否か検討することとした。
- ※1 第 6 次保健医療計画策定時までは、国から示される基準となる病床利用率で算定していたが、第 7 次保健医療計画策定時から、地域の実情を踏まえて最新の病床機能報告等の病床利用率を用いることができることとされた。

2 病床数の見直しの経過と令和 2 年度の見込み（試算）

適用年度	H30 年度～	増減	R 元年度～	増減	R 2 年度～	R 3 年度～
横浜	23,516	89	23,605	1,098	24,703	医療計画の中間見直し年にあたり、全二次医療圏において見直し検討
川崎北部	3,662	106	3,768	28	3,796	
川崎南部	4,189	—	同左	—	同左	
相模原	6,545	—	同左	—	同左	
横須賀・三浦	5,307	—	同左※2	123	5,430	
湘南東部	4,064	—	同左	—	同左	
湘南西部	4,635	—	同左	—	同左	
県央	5,361	—	同左	—	同左	
県西	2,809	—	同左	—	同左	
計	60,088	195	60,283	1,372	61,532	

※2 地域での議論の結果、見直さないこととした。

（参考）3 地域の算定基礎となる人口、病床利用率の時点

人口	H29. 1. 1		H30. 1. 1		H31. 1. 1	R1. 1. 1
病床利用率	H27. 7. 1		H28. 7. 1		H29. 7. 1	H30. 7. 1
	～ H28. 6. 30		～ H29. 6. 30		～ H30. 6. 30	～ R1. 6. 30

3 基準病床数のポイント

- 第6次保健医療計画までは、一律で国告示の病床利用率を使用し、計画期間中の見直しは行わなかった。
- 3地域の見直しは、「病床機能報告の病床利用率」と「最新の人口（その年の1月1日現在の人口）」の変化のみで試算。

〔病床利用率と人口の変化に伴う影響〕

- ・国の定めた計算式では、病床利用率が下がると、基準病床数が増加する。
- ・総人口の増減は、基準病床数の増減につながる。
- ・なお人口は性・年齢別に算定している為、高齢者の増加により、患者数も増加する。

なお、試算に使用する病床利用率は、病床機能報告で報告された（年間在棟延べ患者数／稼働病床数×365日）で算出するが、一部の病院の延べ患者数が前年と大幅な乖離があったため、当該病院に確認したうえで延べ患者数を修正し、療養病床の病床利用率を補正した。

補正後も国告示の病床利用率を下回っており、試算には国告示の利用率を使用することとなるため、試算結果に変更はない。

◆額田記念病院・・・【年間在棟延べ患者数】修正前：0人 ⇒ 修正後：16,807人
療養病床の病床利用率を補正した結果、0.74 ⇒ 0.78 となった。

	療養病床利用率	一般病床利用率
横須賀・三浦 (9/20)	0.74	0.81
横須賀・三浦 (補正後)	0.78	0.81
試算採用病床利用率	0.90	0.81

4 今後のスケジュール（横須賀・三浦）

スケジュール	会議体	内容
令和元年9月20日	第2回県保健医療計画推進会議	令和2年度の試算結果の提示
令和元年10月23日	第2回地域医療構想調整会議	試算結果の提示、見直し検討
令和元年12月頃	ワーキンググループ	見直し検討
令和2年1月～2月	第3回地域医療構想調整会議	地域の意見の最終確認
令和2年2月 (※変更する場合)	第3回県保健医療計画推進会議	保健医療計画（基準病床数部分） 変更（案）確定
令和2年3月	第2回県医療審議会	保健医療計画（基準病床数部分） 変更（案）について諮問・答申
令和2年3月31日	保健医療計画（基準病床数部分）確定	
令和2年4月以降～	第7次神奈川県保健医療計画の中間見直し年にあたり、県内全ての二次医療圏において、基準病床数の見直し検討を実施する予定	

① 試算に利用した病床利用率について

別紙

※ 出典：平成30年度病床機能報告

病床利用率 = 年間在棟延べ患者数(H29.7.1～H30.6.30) × 100 / 稼働病床数(H30.7.1時点) × 365日

※ 国告示の下限値よりも低い場合は下限値を採用し、色づけしている。

国告示 病床利用率	
療養	一般
0.90	0.76

	H30病床利用率		試算における採用病床利用率		(参考)H29病床利用率	
	療養	一般	療養	一般	療養	一般
横須賀・三浦	0.78	0.81	0.90	0.81	0.83	0.79



(参考) 病床利用率の変化による基準病床数への影響(人口は試算と同じH31.1.1時点)

	病床利用率 ▲2%	病床利用率 ▲1%	試算	病床利用率 +1%	病床利用率 +2%
横須賀・三浦	5,562(+132)	5,496(+64)	5,430	5,366(▲66)	5,304(▲126)

② 試算に利用した人口の推移について

単位:人 ()内は前年からの増減

適用年度		H30年度～	R元年度～	R2年度～ (試算)
	時点	H29.1.1	H30.1.1	H31.1.1
横須賀・三浦	総人口	709,759	705,364 (▲4,395)	701,110 (▲4,254)
	65歳以上	220,558	222,151 (+1,593)	223,060 (+909)









(参考) 人口の推移による基準病床数への影響(病床利用率は試算と同様)

適用年度	H30年度～	R元年度～	R2年度～ (試算)	
	時点	H29.1.1	H30.1.1	H31.1.1
横須賀・三浦		5,264 (▲166)	5,335 (▲95)	5,430

単位:床 ()内は試算からの増減

(参考) 第7次神奈川県保健医療計画 基準病床数等の推移

適用年度	H30年度～		R元年度～		R2年度～		R3年度～
	療養	一般	療養	一般	療養	一般	
横浜	23,516		23,605		24,703		医療計画の中間見直し年 全2次医療圏で、基準病床数の見直し検討を実施予定
	旧横浜3圏域毎のため記載省略		0.923	0.810	0.90	0.79	
川崎北部	3,662		3,768		3,796		
	0.93	0.80	0.93	0.81	0.93	0.84	
川崎南部	4,189						
	0.90	0.76					
相模原	6,545						
	0.90	0.76					
横須賀・三浦	5,307		見直しせず		5,430		
	0.90	0.80			0.90	0.81	
湘南東部	4,064						
	0.90	0.82					
湘南西部	4,635						
	0.90	0.76					
県央	5,361						
	0.90	0.76					
県西	2,809						
	0.90	0.76					

※病床利用率は基準病床数の算定に使用した採用病床利用率を記載